



# 気候変動の影響で 勢力を増す台風



環境省は、令和3(2021)年7月に、「気候変動による災害甚大化に関する影響評価(中間報告)」を発表しました。今後さらに地球温暖化が進行した世界で、令和元年東日本台風が発生したとすると、被害(災害)はより大きくなると予想しています。

## 環境省の「気候変動による災害甚大化に関する影響評価」では

地球温暖化が進行した気候条件における「台風の中心気圧や雨量、風速、それによる洪水や高潮への影響」についてシミュレーションしました。

- ◆ 積極的な緩和策に取り組み、気温上昇を2℃に抑えられた場合
- ◆ 現状を超える緩和策が行われず、気温が4℃上昇した場合

どちらの条件でも、現在よりも強度が増し、関東・東北地方に、より多くの雨をもたらす結果になりました。

### 地球温暖化で

- ◆ 気温が上昇 ◆  
大気中の水蒸気量が多くなる!
- ◆ 海水温度が上昇 ◆  
海から水蒸気が台風へ供給されやすい!  
ことが要因と考えられます。

## 令和元年東日本台風の被害

宇都宮地方気象台によると、台風が本県を直撃した10月12日の日降水量は、県内13地点で観測史上最大値を記録しました。県内40河川67箇所の決壊・越水、112箇所の土砂崩れ等、県民の生命や財産に大きな被害をもたらしました。

秋山川の堤防決壊  
(佐野市)



### ◆ 気温が2℃上昇した世界

降水量は、平均して 6%増  
河川のピーク流量(最大流量)は、平均して 15%増



### ◆ 気温が4℃上昇した世界

降水量は、平均して 22%増  
河川のピーク流量(最大流量)は、平均して 29%増



## 地球温暖化の影響は既に現れ始めている!

### 経験したことの無い大雨への備え ～気候変動適応～



これからも起こりうる「経験したことの無い大雨」から自分たちの身を守るためには、災害が起こることを想定して、ハザードマップの確認やマイ・タイムライン(個人の防災行動計画)の作成など、「事前の備え」をすることが、より一層求められています。



栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

その他、気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください (<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

